

外国人が賃貸を利用するときの問題点について

3年5組17番 田村 愛明

〈はじめに〉

私は日本における外国人の賃貸の問題と解決というテーマで探究活動を行った。

最初私は、年々グローバル化が進んでいる日本で、よく情報番組で海外出荷上昇や日系製造業のグローバル出荷がコロナ禍前の水準まで戻るなど、良いニュースばかり耳にしている、世界的にも日本でもグローバル化が進み、グローバル化に合わせた企業や政策、観光地また教育面でもグローバル化が目に見える様に対応していく中で、私は逆の視点で考えた。そうして、情報番組などでもあまり話題にならない、グローバル化になっているが故の問題は何かあるのかが気になり調べることにした。

〈序論〉

宗教や文化の違いで意見が合わずトラブルが起きてしまう。異なった宗教、文化の理解が出来ず馬鹿にしたり、差別をしてしまうなどの問題。日本に滞在している外国人への肌や言語、体系や服装などの見た目や外国人というだけでの偏見、差別。また、外国人労働者と日本人労働者の賃金の差が全く違う。

そして、外国人労働者は雑用や日本人が好まない仕事などを長時間で低賃金という質も量も違っており、外国人労働者は企業などに採用されにくいと、質が悪い労働をしなければならない。表に出ていないだけで数えきれない、それも見過ごしてはならない沢山の問題がこの日本だけでも起こっていることを知った。

そして、私はこれらの問題を解決する方法は何かないのかと考え、これらの問題が起きてしまいかねない原因のひとつが国際結婚が背景かもしれないと考え、国際結婚に焦点を当て探究していこうとした。

しかし、国際結婚の問題について深く知っていく中で、よりさまざまな問題がでてきた。国によつての事実婚の考え方の違いのため起きてしまうトラブルや相手との距離感が違い不快な思いをさせてしまうこと。国別で賃貸の借りる方法や契約など違うため起きる問題。

という問題が出てきてしまい国際結婚という枠組みに焦点を当ててしまうと多くの問題を深く知り解決方法を見出すにはあまりに時間がかかってしまい結局浅い知識で問題を見てしまい私たちにできる、口だけでない解決を見出すことまで出来ず結果的に一つも解決出来ないのではないかと考えた。

そして、私たちは「国際結婚から生じる問題」から、国際結婚に関わらず外国人がさまざまな理由で日本に在住するにあたって賃貸を借りることは必ず立ち掛かる問題である「外国人が賃貸を借りる時に起こる問題」へとまた焦点を変えて私たちはこの問題について探究することに決めた。

外国人が賃貸を借りる時に起きる問題は何があるのか、インターネットを使って調べた。そうすると賃貸を借りる時に起きる問題は外国人側の問題と日本人である大家さん側の問題と、双方の問題が見えてきた。

外国人側では、外国人という理由だけで入居を拒否されたり契約内容が日本語表記のため契約内容がきちんと理解できないこと。大家さん側では外国人が家賃を払わず帰国してしまう、騒音、ゴミ出しのルールを守らないこと。

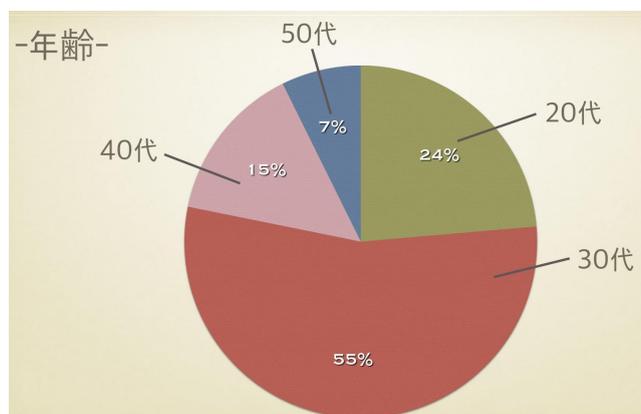
という調査結果から、私たちは外国人と大家さんとの使用言語が違うため、コミュニケーションが上手く取れることが出来ない事や契約内容が日本語。周りに相談する相手もいない為、日本独自の文化やルールを未だ理解出来ないままにいるという事が原因でこれらの問題が起きてしまうと考えた。

〈本論〉

まず私たちは探究するにあたって、日本に住む外国人の賃貸についての調査方法を計画した。まず初めに、インターネットなどで今起こっている賃貸の問題を調べてどんな問題が起こっているのかを、日本人の目線からと日本在住の外国人の方の目線での、双方の現状を知り、そこで出てきた問題を元に、インターネットの意見だけでなく、実際に日本在住の外国人の方々にインターネットで出てきた、困っていることや距離があると感じたことなどをインタビューやアンケートを実施して、その問題が実際に起こっているのか、その他にも問題があるのかを知り、そこから解決方法を考えることにした。

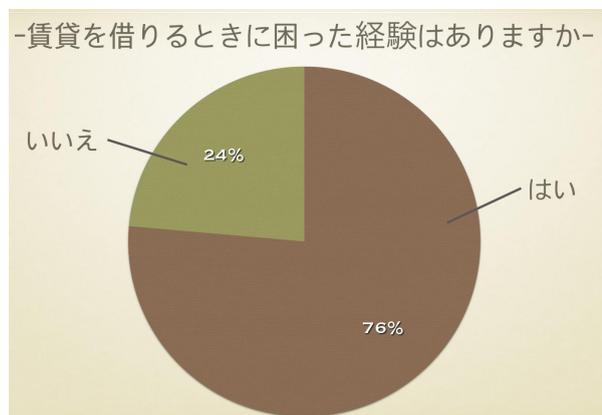
インターネットで出てきた、騒音やゴミ出しの問題を元にそこから私達は6つの質問を在住外国人の方にアンケート、インタビューすることにした。

1つ目は、日本で賃貸を借りるときに困った経験。2つ目は、入居中に困った経験。3つ目は、日本で賃貸を借りるのは怖い。4つ目は入居中にあれば便利だなどと思うもの。5つ目は入居中にあって良かったもの。6つ目は入居中の説明やルールでいまだに分かっていない事。そして、質問したアンケート、インタビュー内容をまとめた。初めに、アンケートに答えてくださった年齢は、20代から40代の様々な方々に応えてもらった。



また、性別もさまざまで、インタビューでは計4名が答えてくれた。出身国はアメリカの方が高い傾向で、他の国はほとんど同じ割合だった。日本の滞在歴は様々だけど、15年から22年以上が比較的多かった。日本での仕事は英語関係で働いてる方が多く、英語の先生、ALTの方などが居た。

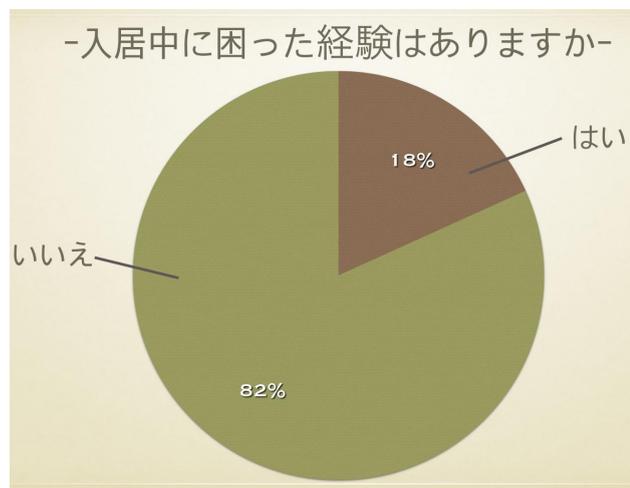
インタビュー結果は以下の通りである。まず、一つ目は日本で賃貸を借りるときに困った経験はあるか質問したところ、「はい」と答えた方が76%だった。



「はい」と答えた方々の意見では、「不動産屋で外国人という理由だけで断られた」「同性カップルである事を理由に断られた」「保証人を探すのが難しいため」「高額な入居金に驚いた」「日本

語を話したり読むことができなかつたため入居を断られた。外国人を受け入れる場所を見つけることが難しい」ということだった。

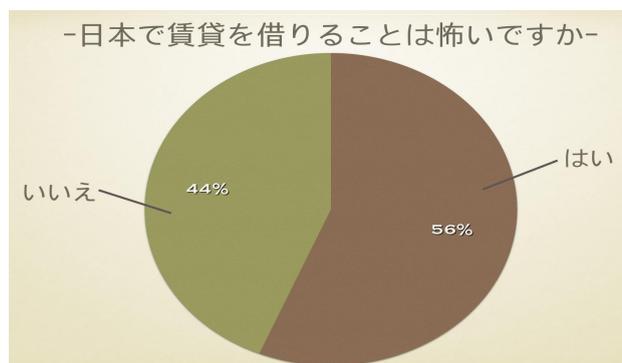
次に2つめの日本で入居中に困った経験はあるか質問したところ、「はい」が18%と入居中には



困っている方は少ないことが分かった。

「はい」と答えた方の意見は、「鍵と敷金がどのように機能するのが分からない」「家賃を支払うタイミングが分からない」「アパートに家具や家電が付いていなくて驚いた」「電気会社に連絡しなければいけない事を知らなかった」「自分はきちんとゴミを捨てたのに住民が、外国人だから、という理由で自分のせいにされた」ということだった。

3つめに、日本で賃貸を借りることは怖いかという質問に対して、「はい」が56%と怖い



と答えた方が、比較的多い結果になった。その理由としては、「コミュニケーションがとれないため」「規則が分からないから」「断られる可能性があるから」「アパートを探すときに人種差別があるから」「隣人からくじょうやトラブルが発生する事があるから」「すべてのルールが分からないから」「頻繁に引っ越すとクレジットカードや永住ビザが、拒否される可能性があるから」などだった。

4つめのあれば便利だと思うことは、「家電などに複数の言語で簡単な説明を掲載してほしい」「費用、インターホン、宅配ボックスなどの細かい説明・日本のルールを全て分かりやすく説明してほしい」「最低限の簡単な英語でのルール説明や契約書・公園やコンビニなどが乗っている大まかな地図」「日本に保証人が居ない人に向けてサポートする会社があれば便利」という意見があった。

5つめのあってよかったものとしては、「不動産の方や、引越し会社の従業員の方が親切だったこと」「日本で書かれたゴミのルールなどを説明する紙をもらったこと」「家主が親切だったこと」などと、人とのコミュニケーションや、親切さが外国人の方たちの助けになっていることがわかった。

6つめの入居中の説明やルールで未だに分からないことは、「ゴミやリサイクルのスケジュールを理解する事が難しい」「引っ越す際に近所の方に自己紹介の贈り物を持って行くこと」

「保証人の個人情報が必要なこと」「電気がないこと」「礼金の制度は未だになぜあるのか」などだった。

これらのことについて、私達が考えた解決方法は、1, 契約内容に表記する言語の種類を増やすこと2, 日本のルールを知って理解してもらうこと3, そして大家さんや近隣の住民の方々とのコミュニケーションを沢山とり、この家の近くに何があるのかを知る事も大切ではないか、と考えた。そして、外国の文化を理解して外国人に対する先入観や偏見をなくし、相手の事をよく知り、私たちから歩みよる事が解決する道に繋がるのではないかと考えた。

そこで、私たちが考えたのは、多言語対応のウェブサイトを作り外国人が困っている賃貸の問題と解決を掲載することだ。

はじめは、パンフレットを作成し、賃貸の問題と解決についてのパンフレットをSNSで外国人の方に向けて発信したり実際に設置しようと考えていたが、パンフレットでは紙を多く使用しなければならなかったり、設置場所などの問題や、目に入らずに手に取ってもらいづらいなどの問題点が見つかった。

そこで私たちはパンフレットではなく、SNSで簡単に共有しやすいウェブサイトと設置場所に困らないポスターを作り、外国人の方々の助けにならないかと考えた。

ポスターの内容は、奈良県の写真と一緒に学校名、電話番号、WebサイトのQRコードを貼り、外国人の方が読みやすいように、平仮名で掲載し、多くの外国人の方がこのwebサイトを見つけられるようにしようと計画 중이다。

また、設置場所は、ポスターなので場所も取らないため駅や不動産のところなどで貼らせて頂けるか検討している。

Webサイトでは、初めに自分達についてやその思いを掲載し、次に奈良県専用のゴミの日にちが載っているアプリの紹介から、自分の地区の設定方法等を説明している。

そして、大まかな簡単な契約内容、保証人会社や、不動産、外国人サポート会社などの電話番号、奈良市のマップのURLを掲載している。

しかし、いろいろ掲載しなければならない事があり沢山の確認も必要になってくる為まだ現段階では準備中だが完成すれば必ず外国人の方々の助けになると考えている。

〈結論〉

最近では日本はウクライナからの避難民の受け入れをしていたり、日本の文化、アニメや食に注目が集まっているため、ますます外国人の方々の手助けとなるように発信していきたい。

これらの問題はすぐに解決できる物ではなく、日本と相手国同士の先入観や国関係なく1人ずつの個人の考え方の違いから生まれる問題でもあるため、今の私達にできることは日本在住の外国人に対してのサイトを作り、少しでも情報を発信していくことしかできない。しかし、私たちにできることわかっていることは、多くの外国人の方に対して日本人がすべき対応に多くの問題がありこれを変えていかない限り今後この問題は解決せず、なにも変えることができないままだと思う。そして、今私たちが外国人に対する先入観や偏見を無くさなければならないということを知ることによって今回探究し、学んだことが活かせると思う。

これらを活かして、日本で外国人に出会った時にこのような不安や不便さを抱きながら過ごしていることを理解して、関わろうと思った。これまでは外国人は誰でも怖い印象で、日本で暮らす不便さはあったと思うが、暮らすことへの不安や日本人の偏見に不快な気持ちを持っている人たちがいるなんて思ってもいなかった。

しかし、調べて探究していくうちに偏見に悩まされていたり、それぞれ事情があって来ているのに不便さや助けてもらえなかったりと様々な問題を外国人の方は抱えていると今回の探究で知ることができてよかったと思う。だが、今も前の私達のように何も知らず、知らないうちに外国人を傷つけていたり嫌な気持ちにさせてしまっている人は大勢いるため、私たちが少しでも多く発信していかなければならないと思う。

私は将来の夢がないが、必ずどの仕事をしても外国人の方と関わることはこれからどんどん増えていくと思う。そして、文化の違いを感じることもあると思うが、今回のことから賃貸の問題だけでなく、賃貸の問題の中の根本である文化の違いや感じ方の違い、その人1人ずつの事情などもある事を常に頭に入れて行動したい。